

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 7 年 第 3 回

那須塩原市議会定例会

(6 月)

【代 表 質 問 者】

T E A M 那 須 塩 原

議席 16 番 君 島 一 郎 議 員

五 峰 ク ラ ブ

議席 19 番 若 松 東 征 議 員

受付番号	平成27年 5月18日
第 / 号	午前 / 午後 / 時 20分受付

平成27年 5月18日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 TEAM那須塩原

議席番号 16 番 君 島 一 郎



会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市所有の美術品について	平成25年度末における那須塩原市所有の美術品等は、790点 あります。私は、美術品というと高価なものをイメージします。 そこで、この美術品等について、次の項目をお伺いします。 (1) 美術品等とは、どのようなものか。 (2) 現在までに、何点になったのか。 (3) 保管は、どのように行っているのか。 (4) 評価額は、どの程度か。 (5) 寄付・購入等の区分は、どのようになっているか。
2. 阿久津市政について	阿久津市長は、平成24年1月22日に市長に就任し、3年5 ヵ月が経過をしました。就任後2年5ヵ月間は、市民から不平・ 不満が多く出されておりましたが、この1年間は阿久津市長に対 する評価がうなぎ上りに支持されております。 本年第1回那須塩原市議会定例会において、市長選挙公約の達 成度をお伺いしたところ、「手法は違っているも、公約の目的は全 て達成できた。」とご答弁を頂きました。また、一方で定住自立圏 構想・中心市街地活性化事業や新庁舎建設など、本市の将来を見

受付番号	平成27年5月25日
第2号	午前 11時50分受付 午後

平成27年5月25日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

会派名 五峰クラブ

議席番号 19番 若松 東 征 

会派代表質問通告書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 道路整備基本計画に基づく 道路行政について	平成17年1月1日に旧黒磯市、旧西那須野町、旧塩原町が合併して誕生した那須塩原市は、合併に伴い策定された新市建設計画に基づき、市民生活の向上や地域経済の活性化を図るため、広域幹線道路から生活道路まで体系的に整備し、地域の一体性の確保や均衡ある発展に努める必要があります。また、自動車交通需要の伸びは、近年社会経済の変化により、当初の見通しに比べて低下傾向となっており、このような交通需要の変化への対応が求められています。このような背景を踏まえ、新市の都市構造や交通需要の変化を捉え、将来道路網の整備計画を策定し、計画期間を平成18年度から平成27年度までの10年間とする道路整備基本計画を策定されたが、そのなかで整備計画に位置づけた路線について伺います。 (1) 新たな都市構造に対応した一体的な骨格道路の形成について伺います。 (2) 人にやさしい道づくりについて伺います。 (3) 環境負荷の小さい道づくりについて伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4) 豊かな自然環境を生かした個性的な道づくりについて伺います。
	(5) 整備効率を重視した道づくりについて伺います。
	(6) 住民参加によるまちづくりと一体となった道づくりについて伺います。
2. 阿久津市政の総括と今後の抱負について	阿久津市長就任後3年5ヵ月を迎えますが、市長は、これまで喫緊の課題である放射能対策事業を最優先に取り組むとともに、山積された行政課題の解決に向け、様々な事業を実施されました。
	また、44の公約すべてを実行するとともに、就任後の予算の考え方については、「分度推譲」の精神で全体を見直し、有効的な予算を計上するなど、次の展開へのステップとされました。
	さらに、全小中学校へのALTの常駐配置や、子ども未来部の新設に伴う子ども未来基金7億円の設立など、多くの新案を提案実行に移すとともに、定住促進に向けた取り組みを推進し、「人口の減らないまちづくり」の実現に向けて、昨年の予算編成では「定住促進元年」と位置付け、各種事業を展開されました。
	その結果、全国813都市の「住みよさランキング」において、全国94位、県内で1位にランクインするなど、目ざましい展開をし、全国から注目を浴びています。
	そこで、これまでの阿久津市政に対する市長ご本人の評価と、2期目に向けての抱負について伺います。

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 7 年 第 3 回

那須塩原市議会定例会

(6 月)

【一 般 質 問 者】

議席 5 番	佐藤 一則	議員
議席 7 番	櫻田 貴久	議員
議席 1 番	藤村由美子	議員
議席 20 番	山本はるひ	議員
議席 2 番	星 宏子	議員
議席 3 番	相馬 剛	議員
議席 17 番	吉成 伸一	議員
議席 18 番	金子 哲也	議員
議席 4 番	齊藤 誠之	議員
議席 23 番	平山 啓子	議員
議席 11 番	高久 好一	議員
議席 6 番	鈴木 伸彦	議員

受付番号	平成27年 5月18日
第 / 号	午前 8時30分受付 午後

平成27年 5月18日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 5番 佐藤 一則



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 消防団について	かつてのむら社会では、農業や漁業のような第一次産業に従事している人が多く、生活サイクルに大きな違いはありませんでした。消防団員個々の居場所は互いに熟知しており、災害発生という緊急時にも一致した行動を起こすことは難しいことではありませんでした。しかし今日の消防団員は、農業や漁業の専門家は少なく、他産業に従事しているケースが多数を占めています。そのため日中はもとより、夜間においても、消防団員が決められた時間に全員集合する事は不可能に近いのが実情です。そのため、連絡網の整備、さらには雇用主の消防団活動に対する理解を求める働きかけが必要となっています。現在の消防団員は、「消防団員としての顔」と「職場の顔」という二つの顔を持っています。消防団活動は、災害という非常事態への対応が求められますが、職場が遠隔地であったり、職務上その場を離れられなかったりで、消防団員と仕事を両立させることは、かなり難しいといえます。消防団活動に意義を見いだしてはいるものの、入団に踏みきれない人は少なくないと感じております。消防団活動は、火災の鎮火が確認されると、消火活動の主力である常備消防は所属する消防本部や分署に撤収します。被災者にとっては、後始末は大変な時間と労力を要する仕事です。その際、重要な役割を果たすのが地元の消防団です。消防団は、その名が示すように消火活動に従事する組織ですが、行方不明者・遭難者の捜索や救助活動、風水害時の堤防警戒等多岐にわた

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	っています。消防団員数は、消防団発足の翌年の昭和24年に約
	208万3千人。現在は約6割も減少し90万人を割り込んでいます
	ので、次の点についてお伺いします。
	(1)本市消防団員の定数と推移についてお伺いします。
	(2)団員手当と費用弁償についてお伺いします。
	(3)消防団の装備とその数についてお伺いします。
	(4)本市には、現在黒磯、西那須野、塩原の3消防団があります
	が、今後那須塩原市消防団として一つの消防団にする考えが
	あるかお伺いします。
2. 有害鳥獣について	近年、野生鳥獣の個体数の増加によって農林水産業をめぐる鳥獣
	被害が深刻化・広域化しています。これまで、主に鳥獣の生息域
	に近い中山間地域で発生していましたが、最近では、市街地にま
	で被害が拡大してきています。昨今の鳥獣被害金額は全国で約200
	億円に上り、営農意欲を減退させる大きな要因となり、また、耕
	作放棄地の拡大にもつながるなど、被害金額だけでは計り知れな
	い悪影響が懸念されています。その被害が広域化・拡大化して
	いることが大きな問題であり、その背景としては、かつて狩猟に
	よる個体数の調整があったものの、現在、狩猟は免許制であり、
	また狩猟や猟法などにも厳しい規制があるため、狩猟人口が減少
	し狩猟者(猟銃免許を有している者)も高齢化しています。また、
	気候変動の影響で少雪化、暖冬傾向にあるため、生息適地が変動
	・拡大しています。そして、近年の農山漁村の過疎化、高齢化の
	進展等による耕作放棄地の増加といった人間の生活域の機能不全
	が挙げられます。こうした様々な要因から、平野部さらには市街
	地に野生鳥獣が出没しているものとみられていますので次の点に

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	ついてお伺いします。
	(1)本市の被害の地域特性についてお伺いします。
	(2)本市の被害額の推移についてお伺いします。
	(3)本市の被害対策の現状と課題についてお伺いします。
	(4)緊急捕獲活動の内容についてお伺いします。
3. 教育について	那須塩原市教育行政基本方針として、
	1. 心のふれあいと生きがいをもたらす社会教育の充実
	2. 豊かな心をもち、たくましく生きる力をはぐくむ学校教育の充
	実
	3. 地域に根ざした心豊かな市民文化の創造と文化財の保護
	4. 健康で活力に満ちた生活を目指す生涯スポーツの推進
	5. 思いやりの心を育てる家庭教育の充実と青少年の健全育成
	の五つの基本方針が示され、平成 24 年度から後期基本計画がスタ
	ートしました。また、「確かな学力・体力」の向上。「社会力」の
	向上。「豊かな心(感性)」の育成を 3 つの柱とした、学校教育の基
	本方針に基づき、教員の授業力向上をめざして、なすしおばら学
	び創造プロジェクトとして示されましたので、次の点についてお
	伺いします。
	(1)五つの基本方針について具体的に取組まれた主な事例につ
	いてお伺いします。
	(2)なすしおばら学び創造プロジェクトのPDCAのサイクルを
	お伺いします。
	(3)PDCAの活用方法の学校間の連携についてお伺いします。

受付番号	平成27年5月8日
第2号	午前 8時45分受付 午後

平成27年 5月18日

那須塩原市議会議員 中村芳隆様

議席番号 7番 櫻田貴久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 観光行政について	本市の観光客入込み数は、平成22年には1,000万人を超えていましたが、東日本大震災等の影響により平成23年度には812万人にまで落ち込みました。宿泊者数の推移についても同様の傾向がみられましたが、平成25年度には観光客入込み数が979万人、宿泊者数は96万人にまで回復しましたが依然として苦戦が続いている状況です。そこで、本市の更なる観光の発展を期待し、以下の点についてお伺いします。 (1) 4月に「那須塩原市観光局」が設置され、更なる観光の振興が期待されますが、改めて観光局の役割と現状についてお伺いします。 (2) 本市の観光については、きっちりとしたビジョンが策定され、それに向けての取り組みについては非常に評価されるどころであります。今年度の取り組みについてお伺いします。 ①地域の特性を活かした事業や、新規事業についてお伺いします。 ②今後のプロモーションの展望についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) シティプロモーションと観光の係わりについてお伺いします。
	(4) 木下審議監が着任したことにより本市の観光の魅力はどのように向上したかお伺いします。又、政策の達成率についてもお伺いします。
2. 人口減少時代にともなう本市の取り組みについて	東京オリンピック・パラリンピックの開催が2020年に決まり、日本全体が高揚感に浸っています。しかし、この年に東京の人口は減少に転じ、日本にとっては、いよいよ本格的な人口減少時代に突入する大きなターニングポイントを迎えることとなります。
	日本創成会議の人口減少問題分科会が公表したリストが全国に衝撃を与えた若年女性(20～39歳)人口が2010年から2040年までの間に半分以下となる「消滅可能性都市」が、全国1741自治体のうち過半数の896自治体に上ると推計されました。
	そこで、人口減少時代に向けた本市の取り組みについて、以下の点についてお伺いします。
	(1) 本市の人口の推移についてお伺いします。
	(2) 「子育て支援」が十分な地域でも、出生率が向上していない地域もあります。日本の出生率の低下には、子育て環境の問題以外にも晩婚化や若年層の所得問題なども大きく影響していると考えられます。これらを含めた総合的な対策を行うことが必要であり、それにより出生率の向上が期待できることから、本市の取り組みについてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 人口減少克服に向けた本市の効果的な施策についてお伺い します。
	(4) 本市が目指すべき人口の将来展望についてお伺いします。
	(5) シティプロモーションの強化が必要とされるが、本市の進 捗状況と更なる取り組みについてお伺いします。
	(6) 国の「総合戦略」における4つの基本目標と政策5原則に おける本市の具体的な取り組みとタイムスケジュールについて お伺いします。
3. 投票率の向上に向けた本市 の取り組みについて	4月に行われた栃木県議会議員選挙は、那須塩原市、那須町選 挙区ともに40%を下回り、特に那須塩原市では前回の 44.10%を下回る38.07%と低迷しました。 栃木県選挙管理委員会によりますと県議会議員選挙の投票者総 数は58万6,735人(男性29万2,524人、女性29万 4,211人)で、投票率は44.14%(男性44.47%、 女性43.82%)で、前回2011年(46.27%)に続い て50%を下回り、過去最低を更新しました。今回の期日前投票 者数は、4月4日から11日までの8日間で前回比1.64倍増 の11万6,104人となり、期日前投票が導入されたこれまで 3回の県議会議員選挙では最多となったものの、全体をみると投 票率は低迷したといえます。実に有権者の5人中3人近くが投票 を棄権した計算となります。 そこで、投票率向上に向けた本市の取り組みについてお伺いし ます。

受付番号	平成27年5月18日
第3号	午前 10時30分受付 午後

平成 27年 5月 18日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 1番 藤村 由美子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原駅前の都市計画と公共交通整備について	本年3月に新庁舎建設基本構想が策定され、那須塩原駅周辺地区における都市再生整備計画が平成29年1月策定を目途に、那須塩原市立地適正化計画が平成30年3月決定を目途に進められるというスケジュールも発表されました。私はこれまでの一般質問で、都市計画の中でバス路線などの公共交通を総合的に考えてほしいと繰り返しお願いしてきました。西那須野駅前整備、黒磯駅周辺整備に続いてのこれらの一連の計画は、人の流れを創出し、人の動線を大きく変え、那須塩原市としては後世に残る大規模な都市計画になることから、改めてお伺いします。 (1) 新庁舎建設計画、那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画、那須塩原市立地適正化計画の中で、公共交通網の整備はどの部署でどのように考えられるのか、お伺いします。 (2) 地域公共交通会議の開催実績とその内容についてお伺いします。 (3) 民間のバス会社やタクシー会社と現在どのように関わっているか、また今後の長期的展望についてお伺いします。 (4) 都市計画において、人の流れの創出とその動線を描く事は

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	必要不可欠であることから、市の企業誘致戦略が関わるのかどうかお伺いします。
2. 子育て支援の施策について	本年4月1日に子ども未来部が創設されました。定住促進を推進するにあたり、人口の減らないまちづくりを進めるためにも、若い世代に対する当市の魅力発信が鍵となります。那須塩原市で子育てすることのメリットをアピールするには、誰にもわかりやすい、子どもにやさしい施策が求められます。「子ども未来部」とは、子どもの未来を見据えての施策を市として強化したいと考えている強い意志の表れだと考えますのでお伺いします。 (1) 子ども未来部が創設されて、市は子どもへの施策を市全体の将来展望の中で、どのような位置づけで考えているのかお伺いします。 (2) 定住促進を推進したい市として、強烈にアピールできる新たな子育て支援施策を考えているのかお伺いします。 (3) 特に幼児期の子どもの運動能力やコミュニケーション能力を育むために、どのような遊び場が必要だと考えているのかお伺いします。 (4) 子育て支援には、子育て相談、イベントや子育てサロンの開催、予防接種のお知らせなど、様々な情報発信が必要ですが、どのように情報発信しているのかお伺いします。 (5) 様々な情報を体系的に管理し、子どもの月齢別にターゲットを絞って配信することが情報を伝達する上で非常に効果的であると考えますが、このような「子育てメール」の導入について市の考えをお伺いします。

受付番号	平成27年 5月2/日
第 4 号	午前 9 時 45 分受付 午後

平成27年 5月21日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 20番

山本はるひ



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 「人々から選ばれるまちづくり」を目指す中での図書館のあり方について	黒磯駅前周辺地区都市再生整備計画の中には駅前図書館の整備が入っています。26年度には、この図書館の詳細について、運営も含めて今後決めるということで、市の図書館との関連もはっきりしていませんでした。この整備計画は30年度までの事業であることから、中身の検討など具体的な設計が行われていることと思います。 一方で、西那須野図書館と黒磯図書館は建設後25年以上経ち、設備の劣化やバリアフリーではないことから、利用者はもとより管理の上からも使いにくい施設になっています。 そこで、新設される駅前図書館と現在ある3つの市図書館、公民館の分館、学校図書館を含めて、本市における図書館の充実や今後のあり方を伺うものです。 (1) 人々から選ばれるまちづくりや、定住促進に向けた取り組みを推進していく中で、図書館の位置づけをどのように考えているか伺います。 (2) 駅前図書館の構想とその進捗状況、市図書館の中での位置づけを伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 西那須野図書館と黒磯図書館は経年劣化で修繕を重ねて使用している状態です。この現状をどのように把握しているか、今後の予定について建て替えも含めて伺います。
	(4) 学校図書館は児童、生徒にとって魅力ある場所になっているか、調べ学習は十分にできる場所か伺います。
	(5) 学校図書館に図書の専門職員を毎日置くことの必要性について伺います。
	(6) 市図書館と学校図書館の連携は十分になされているか、図書の貸し出しの連携も含めて伺います。
	(7) 子ども図書館の設置についての考えを伺います。
2. 那珂川河畔運動公園から鳥の目河川公園までの管理について	毎年夏が近づくと、那珂川の河川敷でバーベキューや花火、キャンプをする人が目につくようになります。休日明けの早朝はごみの山で、散歩中の人たちが拾ってくれることで、どうにかきれいな状態を保っているのが現状です。 市は定住促進を掲げて都会からの転居を促していますが、河川敷や公園がごみだらけでは、都会から移り住んで子育てをしようという気持ちにはならないと思います。 (1) 河川敷でバーベキューや花火、テントを張ってキャンプをすることについてのきまりはあるか、全面禁止をしているのか伺います。 (2) 河川敷の管理は誰がおこなっているのか、管理の責任はどこにあるのか伺います。 (3) 駐車場をふやす考えはあるか、また園内の道路を進入禁止にして安全を確保することはできないか伺います。

受付番号	平成27年 5 月 21 日
第 5 号	午前 11 時 30 分受付 午後

平成 27年 5 月 21 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 2 番 星 宏 子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 軽度・中度難聴児に対する支援について	新生児スクリーニングにより、難聴児を早期発見し、聴こえに対する支援も充実してまいりました。難聴には、軽度・中度難聴、一側性難聴、進行性難聴等がありますが、高度難聴児も人工内耳手術により軽中等度難聴と同じレベルの聞こえを取り戻す事例も増えています。 軽度・中度難聴児の聞こえは、「対面の会話や、大きめの声の対話は不自由ない」、「小さな声の話や、ささやき声が聴きにくい」「複数名による会話での話し合いや意見調整は難しい」といった状況があります。 また、聴こえにくいことにより、自分に自信を持つことができず、円滑な対人関係がとりにくくなるため、社会性の発達の遅れにつながることも危惧されます。日本耳鼻咽喉科学会会報に『小児難聴は早期発見が不可欠である。同時に、とくに軽度・中等度難聴児においては、聴覚障害を適正に認識、受容できるような指導、補聴の定着、そしてコミュニケーション指導が重要である。』と記載されております。以上のことから以下のことについてお伺いいたします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) 新生児スクリーニングの受診状況をお伺いいたします。
	(2) 本市の軽中等度難聴児の人数をお伺いいたします。
	(3) 本市の支援の状況についてお伺いいたします。
	(4) 幼保小中学校における教育支援について本市の考えをお伺いいたします。
2. 自殺防止対策について	我が国における自殺者数は、平成 10 年以降、14 年連続で年間 3 万人を超えていましたが、平成 24 年は 15 年ぶりに 3 万人を下回りました。内閣府の資料で平成 24 年男女別の年齢階級別の自殺者数でみると、年齢別の自殺の状況は、60 才代が最も多いですが、男女別にみると 40 才～60 才代の男性で自殺者数の約 4 割を占めています。本市における自殺者数は平成 26 年で総数 34 名でした。原因は 1 位 健康問題、2 位 経済・生活問題、3 位 家庭問題となっていますが、自殺に至るには複数の原因が重なっており、個人的要因と社会的要因が複雑に絡み合っています。WHO(世界保健機関)は平成 16 年の自殺予防デーに合わせて、「自殺は大きな、しかしその大半が予防可能な公衆衛生上の問題である」と世界に向けてメッセージを発信しました。平成 10 年以降の自殺の増加は、経済的な理由等で社会的に追い詰められた中高年の自殺の増加が大きく寄与していると考えられています。社会的要因で追い込まれた末の自殺は、社会的な対策を講じることで防ぐことができると考えられることから以下についてお伺いいたします。
	(1) こころの体温計の現在の利用状況についてお伺いいたします。
	(2) 県で実施している 24 時間相談窓口との連携についてお伺いいたします。

受付番号	平成27年5月21日
第6号	午前 / 午後 1時00分受付

平成27年5月21日

那須塩原市議会議員 中村芳隆様

議席番号 3番

相馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、本市の運動施設における管理責任について	2004年愛媛県で起きた、小学生男児が蹴ったボールが道路に飛び出し、それをよけようとした男性が転倒し、その後亡くなった事故で、遺族が損害賠償を求め提訴、1・2審は両親が少年の監督義務を怠ったとして賠償を命じた。しかし今年最高裁で両親に賠償責任はないとの逆転判決が下された。本市では昨年中学校のグラウンドで、ソフトボールが駐車場に飛び出し車のガラスを破損した件で、市が100%の割合で賠償している。こうした事例は市の運動施設ではどこでも起こる可能性があり、グラウンドから、野球ボールやソフトボール、サッカーボールが飛びだし、人や物に損害をあたえた場合、利用者としてはどう対応したら良いか、市の所見を伺いたく以下の質問をいたします。 (1) 市立の小中学校の運動場で起きた場合の対応について伺います。 (2) 市のスポーツ施設で起きた場合の対応について伺います。 (3) 市内の公園で起きた場合の対応について伺います。 (4) コミュニティーグラウンドや公民館のグラウンドで起きた場合の対応について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2、くろいそ運動場テニスコートについて	くろいそ運動場のテニスコートは、平成 26 年度に 12 面が改修完了し、スポーツ施設整備計画では、27 年度に現サッカー場を改修、テニスコートを 8 面増設するとしていました。平成 25 年 12 月定例会での質問の際も、ねんりんピック 2014 には間に合わないものの 27 年度に設計、28 年度に整備完了が目標との答弁でした。 しかし今年度の事業計画では、テニスコートの整備設計の予定はされておりません。今年 3 月に策定された、那須塩原市定住促進計画の重点施策 7K の 6 交流の中にもスポーツイベントの誘致として、本県開催の国体への準備を進めるとしています。そうした中、本市はソフトテニスを国体誘致種目に掲げており、1980 年の栃の葉国体の際も、このテニスコートが会場となった実績もあり、また、テニスは本市を代表するスポーツ種目で子どもから高齢者まで幅広い層で、競技あるいは、レクリエーションスポーツとして愛好されています。以上の点から、このテニスコート整備は早急に必要と思うことから以下の点について質問いたします。 (1)「平成 28 年度の完成を目標」への見通しについて伺います。 (2)テニスコート増設計画について具体的内容を伺います。
3、小中学生社会体育活動支援について	平成 27 年度予算執行計画書の 10 款教育費、スポーツ振興事業の補助金に「小中学生社会体育活動支援」費が計上されています。 これについて、以下の質問をいたします。 (1)事業内容の詳細を伺います。 (2)この補助金の運用規定について伺います。 (3)補助金の市民への周知について伺います。

[illegible]

受付番号	平成 27 年 5 月 21 日
第 7 号	午前 4 時 50 分受付 (午後)

平成27年 5月21日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 17番

吉成 伸一 

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 魅力ある「東那須野公園」 整備について	「東那須野公園では、ラッパスイセンが見頃を迎えた。斜面いっぱい広がる花の輪が、散策する人々を和ませている」と3月22日の下野新聞で紹介されましたが、ここ数年マスコミ等で取り上げられ来場者が年々増えています。また、4月には「みね山花まつり」を開催し地域の方々と賑わっています。 東那須野公園では、毎年スイセンの植栽がいくつもの団体によって行われてきました。都市公園でありながら市民の手作りの側面もある公園です。これまで以上に魅力ある公園にするための整備についてお伺い致します。 (1) スイセンの植栽事業の中心的役割を果たしていた東那須野地区車座談議による植栽事業が昨年で終了しました。今後は行政としての植栽事業が必要ではないでしょうか。また、那須塩原駅から来る際の案内等も必要ではないでしょうか。 (2) 公園に隣接する私有地の東側斜面の管理や西側の調整池の周囲の整備が望まれますが、お伺いいたします。 (3) 公園西側の私有地の針葉樹林を公園として整備するとともに、隣接する熊川河川敷の整備を行ってはどうでしょうか。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 公民館機能の強化について	公民館は、地域住民のために社会教育を推進する拠点施設として中心的な役割をまた、住民同士が、「集い・学び・結ぶ」ことを促し、人づくり・地域づくりに貢献している大変重要な施設です。以下についてお伺い致します。 (1) 公民館運営の現状と課題として職員の配置や予算配分等について伺います。 (2) 社会の変化とともに公民館に求められる役割も多様化しています。学校・家庭・地域の連携の促進、また、地域防犯・防災教育・裁判員制度など他では提供しにくい分野の講座や地域の課題解決への支援も必要とされています。具体的な取り組みを伺います。 (3) 地域の様々な事業や催しを手助けする「地域担当職員」の配置が望まれますが考え方を伺います。
3. 魅力発信の新たな施策について	人口減少社会の到来に伴い益々地域間の競争が激しくなることが想像されます。本市でもシティープロモーション課を設置するとともに、情報サイト「きらきらホットなすしおばら」を開設し、本市の魅力発信に力を入れています。以下についてお伺い致します。 (1) 結婚する二人にとって「婚姻届」を出すことは生涯の思い出の出来事です。しかし、婚姻届は手元には残りません。独自の婚姻届を作り手元に残せるサービスを行ってはどうでしょうか。 (2) 市民サービスとして自治体では必ず広報誌を発行しています。本市の広報誌は今年からロゴが変わりました。また、スマホやタブレットでも見るができるように工夫されている

[illegible]

受付番号	平成27年5月21日
第8号	午前 5時00分受付 午後

平成 27年 5月21日

那須塩原市議会議員 中村 芳隆 様

議席番号 18番

金子 哲也



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 社会教育について	3月議会において、「学校教育について」という質問で「読書教育・パイプオルガンによる音楽教育・馬との触れあい体験教育」等、学校における情操教育の必要性をたずねた。また、未来に向けての子どもたちに、モラルを重視したマナー教育ができないか伺った。今回はそれらのことを大人社会に向けて、できないかたずねたい。
	(1) 当市の美術・芸術に関して、20年・30年先を見据えて、考えを伺います。
	① 那須野が原博物館・日新の館において、科学・歴史・博物物の分野以外で、美術・芸術の分野での今後のあり方・方針・意気込みを伺いたい。
	② 当市の美術品の収集・收藏について、長期的にどのように考えているか伺いたい。
	③ 市民の間においては、美術活動がとても盛んになっています。市民のための美術品展示場ができないか、先に向けての考えを伺います。
	(2) マナー教育に関しては、学校においては道徳の授業を中心

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	に、しつけやマナーを学ばせていくと思われますが、一般
	市民に対する教育はむずかしいのが現状と思われます。
	① 市としては社会生活・文化の向上に向けて、どのようにし
	て、マナーの向上推進をはかっていけるか、またどの部署
	が担当できるか伺う。
	② 市民の手本となるべき市役所内における職員のマナー向
	上教育について、市としての考えをお聞かせください。
2. 子どもの貧困にどう取り組	子どもの貧困が、今、大きな社会問題になっています。国も動
んでいくか	きはじめていますが、地方自治体が、直接取り組まなければなら
	ないせっぱつまった問題となっています。少子化問題・シングル
	マザーによる子育て環境問題、女性の「仕事と家庭」の考え方と、
	両立の問題。これらの問題は当市の目指している定住促進や住み
	たいまちづくりに直接的にかかわってくる問題であると思われま
	す。「子ども未来部」をいち早く立ちあげ、子育て支援課を置き、
	《子ども・子育て総合センター》を配置して、これからの取り組
	みが期待されます。そこで伺います。
	(1) 子どもの貧困について、当市の現状をどうとらえています
	か。
	(2) 見えにくい子どもの貧困の声を、どのように察知して、ど
	のように手を差し伸べていきますか。
	(3) 那須塩原市において、子どもの貧困ゼロを目指して、体制
	作りができませんか。

受付番号	平成27年 5 月22 日
第 9 号	午前 0 時 55 分受付 午後

平成27年 5月22日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 4番

齊藤 誠之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 社会保障・税番号制度 (マイナンバー制度) について	社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度の法律が平成25年3月1日に閣議決定され、5月31日に公布されました。 この制度は国民一人ひとりに12桁の番号を割り当て、多岐にわたる個人情報を一つの番号で管理できるため、行政事務の効率化によるコストの削減、そして行政手続きの簡素化、社会保障給付の適正化ができるとしています。政府はこの制度の運用開始を平成28年1月から予定しており、本市においても平成27年10月から順次、番号の付番や市民への通知が開始されます。これに伴う自治体で必要な事務の範囲も幅広く、当該事務に対応する制度・業務・システム也多岐にわたることや、この制度自体がまだ市民に広く伝わっていないこともあることから、以下の点についてお伺い致します。 (1) 本市としての現在の工程についてお伺い致します。 (2) 番号通知作業の段階で様々な問題点が考えられますが、その課題と対応をお伺い致します。 (3) 本市での独自利用の検討や個人情報保護条例の改正等の考えはあるのかお伺い致します。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4) 情報漏えいの危険性とその対応策についての取組みについて
	お伺い致します。
	(5) 市民の方に制度を知って頂く為に、周知の取組みについてお伺
	い致します。
2. 安全なまちづくりについ	全国各地で子どもが狙われる凶悪犯罪が続発している中、本市にお
て	いては、幸い凶悪な事件の発生はありませんが、その前兆ともいえる
	不審者による子どもに対する声掛け事案等は発生しております。地域
	の防犯活動をより強固にする為、犯罪の予防を目的とした防犯カメラ
	の設置を考えていくことが必要であると思うことから以下の点につ
	いてお伺い致します。
	(1) 本市における防犯カメラの設置状況についてお伺い致します。
	(2) 防犯カメラ設置に係る効果と問題点についてお伺い致します。
	(3) 小・中学校への設置状況についてお伺い致します。また今後の
	設置の予定があるかどうかお伺い致します。
	(4) 本市の防犯カメラ設置について、将来的な普及の考え方をお伺
	い致します。
3. 本市の道路の安全標記に	子ども達の登下校中の事故報道が絶えない中、本市においても通学途
ついて	中の子どもの車と接触する事故があったことは記憶に新しいと思い
	ます。歩行者等を事故から守る為に、或いはドライバーに注意を喚起
	する為に、本市の道路には市民の安全を守るための各種標示がされて
	おりますが、特に通学等で使われる頻度が高い、幼稚園、保育園を含
	む、学校周辺の通学路での対策について、新たな改善の必要があると
	思うことから、市の方針について以下の点をお伺い致します。

受付番号	平成27年 5 月 22 日
第 / 号	午前 5 時 / 5 分受付 <u>午後</u>

平成27年 5月22日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 23番 平山 啓子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 空き家対策の進捗状況について	空き家の増加が社会問題になっています。総務省の調査によれば全国の空き家は右肩上がりが増え続け、2013年10月時点で820万戸、住宅全体に占める割合は13.5%と過去最高を記録しています。人口減少や高齢化の影響で今後も空き家は増えていく見通しです。新築着工戸数を大幅に減らしても2040年の空き家率は40%弱に達するという試算もあります。管理が不十分な空き家は老朽化で倒壊する恐れがあり、災害時の避難や消防の妨げにもなりかねません。ごみの不法投棄や不審者の侵入、放火など犯罪の温床になるほか、街の景観や衛生にも悪影響を与えます。2014年10月現在、401の地方自治体が空き家の管理に関する条例を施行していますが、自治体任せの対応では限界があり、所有者の把握や、撤去費用などの支援を求める声が相次いでいました。そのようななか、空き家の解消に向けた「空き家対策推進特別措置法」が5月26日に全面施行されました。市町村が固定資産税の納税情報を活用し、所有者を把握しやすくなりました。 (1) 本市において空き家の実態調査が行われたと聞きました

[illegible]

受付番号	平成 27 年 5 月 25 日
第 11 号	 午後 10 時 00 分受付

平成 27 年 5 月 25 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番 高 久 好 一



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 27 年第 3 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 「非核平和都市宣言」の 取り組みについて	市は合併後、新たに「非核平和都市宣言」を採択し 10 年を経た。 安倍政権が「国際平和支援法案」と「平和安全法制整備法案」、 いわゆる「戦争法案」を国会に提出するなか、平和を求める市民 に答える具体的な取り組みと考えについて伺う。 (1) 「非核平和都市宣言」自治体として中学生の被爆地への派遣 や平和図書月間など具体的に取る考えはあるか。 (2) 西那須野支所の「非核平和都市宣言」の懸垂幕の掲示を定 期的に行う考えはあるか。 (3) 「非核平和都市宣言」自治体の市長として海外で戦争する 「戦争法案」をどう捉えているか見解を示して欲しい。
2. 市が自衛隊に提供する市民 情報について	国が戦争を放棄した平和憲法が施行されて 68 年となる。 安倍政権が進める「戦争法案」の危険な動きを加速させるなか、 市が自衛隊に提供している市民情報について伺う。 (1) 住民基本台帳からの情報提供はどのような根拠に基づくも のか、また提供はどのような形で行われているか。 (2) 市はどのような基準で何人の情報を提供したのか、直近の

[illegible]

受付番号	平成27年 5月25日
第12号	(午前) 12時00分受付 午後

平成27年 5月25日

那須塩原市議会議員 中村 芳隆 様

議席番号 6番

鈴木 伸彦



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成27年第3回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 庁舎建設について	新庁舎建設は合併時の約束であり、3市町が一つとなった時にどうあるべきかを検討した結果、那須塩原駅周辺に建てるべきであると決めたと聞いている。また、その為の財政面での準備も着々と図ってきた。 しかしながら、合併して10年の経過の中で社会情勢は変わっている。新聞によると鹿沼市は、資材などの建設工事費高騰に伴う財政負担増のリスクを踏まえ、2020年度供用開始を目指していた新庁舎の建設を先送りする方針を固めた。佐藤信市長が「建設工事費は高騰しており、今後も高止まりの傾向。先送りが現実的で、延期が最善と考えている」との考えを明らかにした。とあったが、そこで伺う。 (1) オリンピック特需等による建設工事費高騰のリスクをどう考えているか。建設時期に対しこのまま進めるべきか否かについての考えを伺う。 (2) 現在及び人口減少の予想される将来の財政状況から、新庁舎とその土地の費用について、それぞれの無理のない最大額と適切と考える額はいくらかを伺う。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(3) 市の財政力から庁舎建設資金は問題ないとして、談合や建設単価の便乗値上げなど、庁舎建設に掛かる金額が膨大であるが故、通常にはない不正防止対策が必要と思われる。
	また、市民の関心度も高い。専門的知識が必要とされる中、その対策及び市民への説明方法について伺う。
2. 那須地区食肉センター廃止に伴う本市の対応について	酪農を営むうえでと場は必要不可欠なものである。しかし、那須地区広域行政事務組合では「那須地区食肉センター」を廃止することとし、代って、県中央の新たな施設に委ねようとしている。
	県内において乳牛の頭数は本市が最も多く、老廃用牛のためにと場がこの地域にあることは合理的であり、酪農家は新たな計画地
	は現在的那須地区食肉センターに備わっていた利点が失われ経営に支障をきたすと考えている。その為、本議会に対しては「那須地区食肉センター」存続の請願が出され、本議会は満場一致で採
	択もしている。本市内においては、酪農は第一次産業の中でもその出荷額の占める割合は米や野菜を凌いで40パーセントを超えており、まさに本市の基幹産業である。
	また、本市は生乳産出額が市町村別で本州1位であることを生
	かした本市のブランド造りに取り組んでおり、その一つとして「牛乳等による地域活性化推進条例」を3月に制定した。これは地域
	活性化のために酪農を活用したといえる。
	国においては人口減少に歯止めをかけるため、地方創生を謳い、
	地方の特性を生かした地域産業の活性化を図っているところであり、本市の酪農振興は国の施策とも合致するものである。
	これらのことより酪農家を支援すべきとの観点から伺う。
	(1) 那須地区食肉センターは老朽化により、関係自治体の財政

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	負担が大きく、今後も増大する可能性があるために廃止を決めたと聞いているが、広域行政事務組合では経営改善の検討を行ったかを伺う。
	(2) 広域行政事務組合の考えとは別に、本市として酪農家の為のとは必要であるとする。今後、県中央に計画されている食肉センターの計画に対し、その計画内容を踏まえたうえで、本市独自の酪農等に供すると場を検討をしていく考えは有るかを伺う。
3. 図書館の現状と課題について	黒磯駅前の再生事業（えきっぷくろいそ）を進めている中で、図書館の役割は重要視されている。そこでお伺いします。
	(1) 現在の本市の図書館の利用状況について伺う。
	(2) 黒磯駅前の再生事業（えきっぷくろいそ）を進めている中で駅前にある図書館のメリットは何であると認識しているかを伺う。
	(3) 現在の図書館の課題について伺う。
	(4) 特に、西那須野図書館は西那須野駅に近く、学生の利用率も高い。その潜在需要はさらに有るとみている。学生が自習室として使うことは図書館の本来の機能ではないが、その環境は彼らにとって自宅や学校では得られないものがある。教育や子育て支援、地域活性化にも繋がるものと考えられる。それらを踏まえ、今後自習室の充実に取り組む考えは有るかを伺う。
	(5) また西那須野図書館はバリアフリーやイベントスペースの不足もあると思われるので、可能であれば立て替えていたいただきたいと思うが、その考えはあるかを伺う。